

# 松前の桜を楽しもう！

## ちょっと 桜 掲示板

いよいよ松前の桜の季節です！

今月は、「松前生まれの桜」を紹介します。

花守・浅利政俊氏が松前で誕生させた桜は100種以上もありますが、今回はこの中から、5種を紹介します。

広報では、桜の魅力を伝えきれませんので、ぜひ松前公園で実際の桜をご覧ください。

浅利政俊氏が昭和34年に無名の八重桜の種子から作り出した桜です。

桜の名所で知られる造幣局（大阪市）「桜の通り抜け」の品種のうちから一種を紹介する「今年の花」（平成26年）に選定されました。

- ＊花期／5月中旬
- ＊所在／桜見本園、新桜見本園など
- ＊花びら／40～45枚
- ＊花色／淡紅色から紅色



昭和38年に「糸括（イトククリ）」の種子から作り出した桜です。

当初は、「松前18号」と呼ばれていましたが、後に「松前」と名付けられました。

- ＊花期／5月中旬
- ＊所在／新桜見本園、第二公園など
- ＊花びら／30～40枚
- ＊花色／紅色



内側の花びらがうねるような付き方をしている桜。散り際に紅く染まるのが特徴です。

- ＊花期／5月中旬
- ＊所在／桜見本園、第二公園
- ＊花／15～23枚・淡紅紫色



育成品種の中で最初に開花する、北国の春を飾る美しい桜です。

- ＊花期／5月上旬
- ＊所在／新桜見本園など
- ＊花／10～15枚・紅色



上野動物園のパンダ「ランラン」の死を悼み、松前の子ども達が名付けました。

- ＊花期／5月中～下旬
- ＊所在／新桜見本園など
- ＊花／20～25枚・淡紅～白